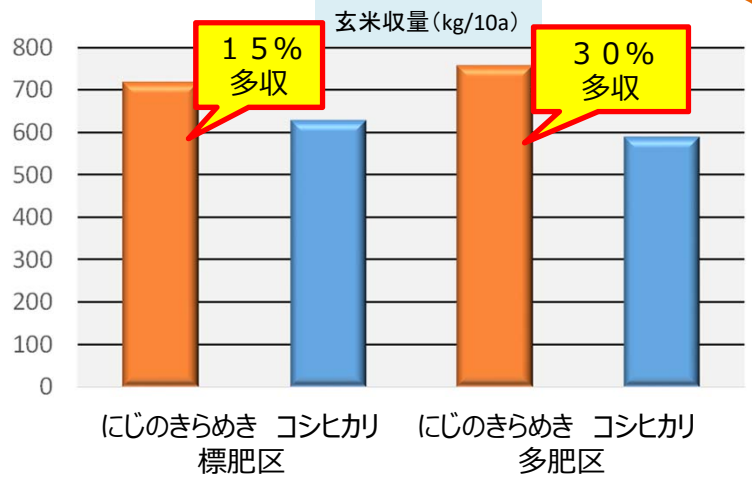


おいしくて暑さに強い多収イネ品種 **にじのきらめき**

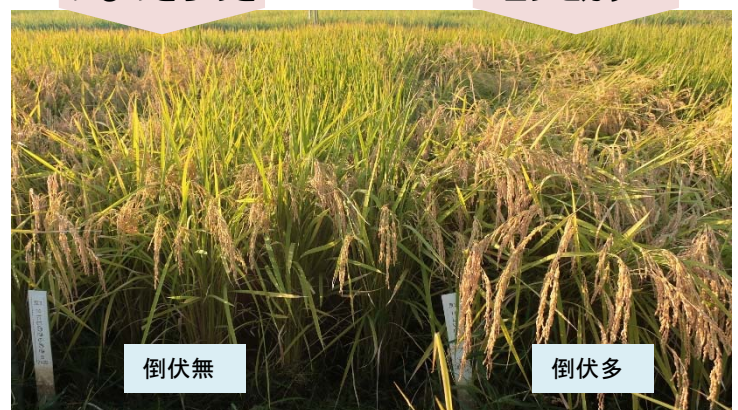
技術の内容

- 「コシヒカリ」よりややおそい収穫期の品種で倒れにくくコシヒカリより大幅に収量が多い
- 高温でもよく実り、米の外観品質が良く、コシヒカリと同等のおいしさ
- 縞葉枯(しまはがれ)病に抵抗性で、いもち病にも比較的強く栽培しやすい
- 北関東から北陸、西日本まで幅広い地域で栽培が可能

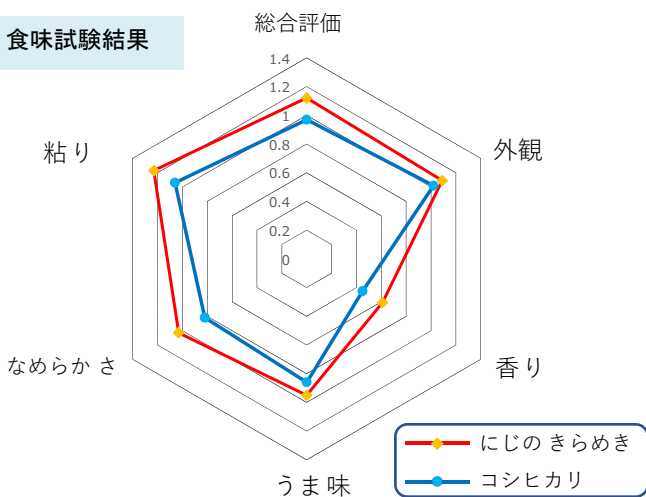


にじのきらめき

コシヒカリ



食味試験結果



主要特性

品種名	耐倒伏性	高温耐性	いもち病		縞葉枯病	穂発芽
			葉	穂		
にじのきらめき	強	やや強	中	やや強	抵抗性	難
コシヒカリ	弱	やや弱	やや弱	やや弱	罹病性	難

普及の状況

● ブランド米に並ぶ食味と安定多収性で、**外食・中食用途への利用が期待されます**。岐阜県で大手米卸が地元JAに働きかけ産地化し、外食チェーン向けに米を供給しています。栃木県、茨城県などでも急速に普及が広がっています。

📄 詳しい情報はウェブで



📄 種子の入手先



📄 技術に興味がある場合は、お気軽に連絡ください

中央農業研究センター
北陸企画連携チーム
TEL:025-526-3215

にじのきらめき栽培のめやす(寒冷地南部 平坦地)



連絡先: 中央農業研究センター北陸研究拠点
新潟県上越市稲田1-2-1
TEL.025-526-3215

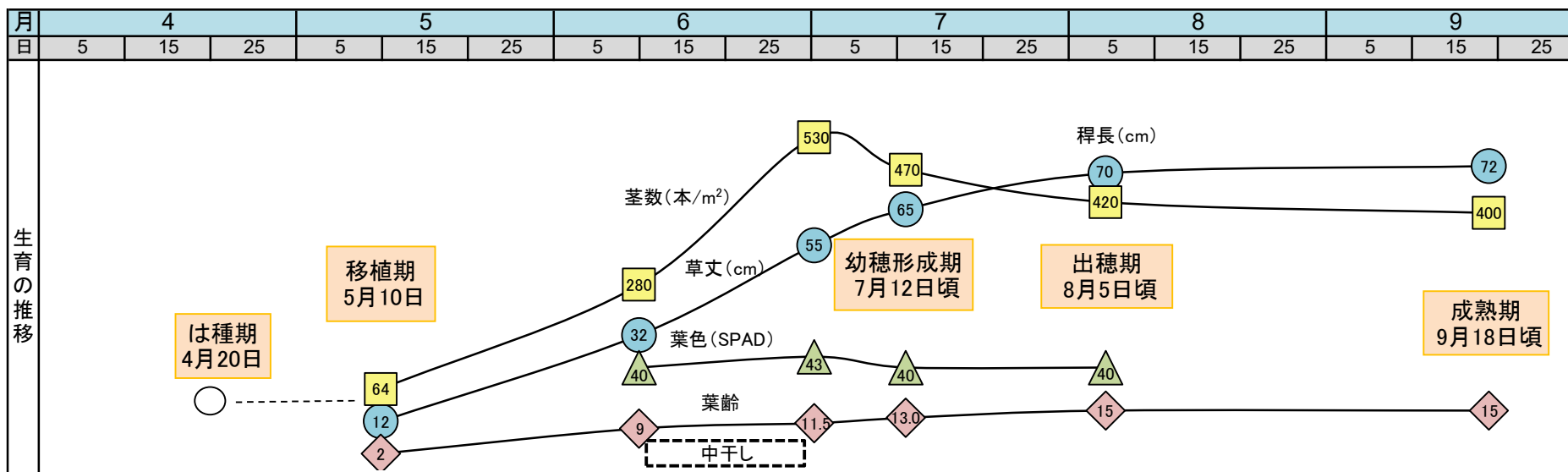
収量目標と収量構成要素

収量(kg/10a)	650
穂数(本/m ²)	400
籾数(粒/穂)	80~82
籾数(粒/m ²)	32,000~33,000
登熟歩合(%)	85
千粒重(g)	23.5

「にじのきらめき」は農研機構中央農業研究センター北陸研究拠点が育成した良食味の多収品種です。短稈で耐倒伏性に優れ、「コシヒカリ」よりやや遅い熟期です。

重点推進事項

- 多収の第一歩は籾数確保の施肥設計→基肥はしっかり、穂肥は遅れず。総窒素施用量で11~13kg/10aをめやすに。
- 適正な移植期を設定し規格苗を育成しよう→稚苗2.0葉、播種4/20以降、移植5/10以降。
- 適正な中干し・溝切りを実施しよう→目標穂数の8割確保で中干し開始。6月中旬から下旬をめやすに。
- 品質・収量確保のために早刈りを防止しよう→黄化籾割合90%、積算気温1,100~1,200°Cがめやす。早期落水防止。
- 斑点米の発生を防止しよう→草刈りの徹底、薬剤防除の適期実施。



管理のめやす	◎基肥のめやす ・N成分で 8~9kg/10a とし、 地力に応じて加減する。	◎穂肥のめやす(kg/10a)	◎生育量のめやす																																					
	<table border="1"> <tr> <th>穂肥時期 (出穂前日数)</th> <th>穂肥量 (N成分)</th> </tr> <tr> <td>30~25日</td> <td>2~3</td> </tr> <tr> <td>14日</td> <td>0~2</td> </tr> </table>	穂肥時期 (出穂前日数)	穂肥量 (N成分)	30~25日	2~3	14日	0~2	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">最高分けつ期</th> <th colspan="4">幼穂形成期</th> <th colspan="3">成熟期</th> </tr> <tr> <th>草丈 (cm)</th> <th>茎数 (本/m²)</th> <th>葉齢 (葉)</th> <th>葉色 (SPAD)</th> <th>草丈 (cm)</th> <th>茎数 (本/m²)</th> <th>葉齢 (葉)</th> <th>葉色 (SPAD)</th> <th>稈長 (cm)</th> <th>出穂後 日数</th> <th>出穂後の 積算気温</th> </tr> <tr> <td>55</td> <td>530</td> <td>11.5</td> <td>43</td> <td>65</td> <td>470</td> <td>13</td> <td>40</td> <td>72</td> <td>44</td> <td>1,100~1,200</td> </tr> </table>	最高分けつ期				幼穂形成期				成熟期			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)	葉色 (SPAD)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)	葉色 (SPAD)	稈長 (cm)	出穂後 日数	出穂後の 積算気温	55	530	11.5	43	65	470	13	40	72	44
穂肥時期 (出穂前日数)	穂肥量 (N成分)																																							
30~25日	2~3																																							
14日	0~2																																							
最高分けつ期				幼穂形成期				成熟期																																
草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)	葉色 (SPAD)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)	葉色 (SPAD)	稈長 (cm)	出穂後 日数	出穂後の 積算気温																														
55	530	11.5	43	65	470	13	40	72	44	1,100~1,200																														

健苗育成 ・適切な病害対策および温度管理の徹底 ・は種量 稚苗170~185g/箱(稚芽) ・箱施用剤でのいもち病・紋枯病予防 ・浸種を十分に行う(特に浸種初期は水温10~15°Cを確保) ・催芽温度は30°C、日数は1~2日をめやすとしハトムネ状態に揃える。 ・出芽温度は30°C	良質茎の早期確保 ・適期移植の実施 ・活着後の浅水管理 ・除草剤の適正使用	適切な生育調節・病虫害防除 ・中干し、溝切りの適期実施 (目標穂数の8割確保で実施) (60株植え⇒株あたり本数17本) ・中干し後の飽水管理の実施 ・いもち病、 紋枯病 の発生を確認したら、速やかに防除する。 ・ 幼穂形成期に低温が予想される場合は深水管理を実施(耐冷性:弱)	穂肥の的確な施用 1回目 出穂30~25日前 2回目 出穂14日前 ・落水は出穂28日以降 ・高温時はかん水実施 ・ 幼穂形成期~出穂期の葉色(SPAD)値を40以上に保つ	適期収穫で品質確保 ・黄化籾割合90% ・ 積算気温1,100~1,200°C ・適正乾燥で胴割れ防止 ・仕上げ水分は15% ・ふるい目は1.85mm以上を使用し、整粒歩合80%以上に
--	---	--	---	---

「にじのきらめき」の収穫適期は、出穂後積算気温が1100～1200℃です



図1 出穂後積算気温が1000℃と1150℃の玄米. 篩目は1.85mm.



図2 出穂後積算気温が1150℃の穂.

- 出穂後積算気温が1000℃ではまだ収穫適期には早く、青未熟粒が多く見られます(図1)。
- 「にじのきらめき」では、「コシヒカリ」に比べて収穫適期に達するのに4～8日長くかかります。
- 出穂後積算気温が1150℃では黄化粳割合は90%に達し、穂の基部の2次枝梗に着生する粳(図2 赤点線内)以外は十分に黄化します。

図1と図2に用いた玄米や穂は、2019年に中央農業研究センター北陸研究拠点でサンプリングされたもの。

総窒素施用量は12 kg/10aで、坪刈りの収量は737 g m⁻²。

2020年の新潟県における生産者圃場での多収事例※

試験地	圃場面積 (a)	栽植密度 (株/坪)	窒素施用量(kg/10a) ¹			全刈り収量 (kg/10a)	等級
			基肥 ²	穂肥	総量		
上越市 板倉区	15	60	9.5	3.5	13.0	665	1
見附市	50	50	9.0	2.0	11.0	700	1
長岡市	100	50	9.0	2.0	11.0	670	1

※移植栽培.

¹窒素分量.

²市販の中生用の速効性肥料と緩効性肥料の混合肥料を使用.



上図: 上越市板倉区における収穫期の「にじのきらめき」と「コシヒカリ」の様子.

下左図: 上越市板倉区の同圃場における「にじのきらめき」の収穫の様子.

下右図: 上越市板倉区の同圃場で収穫された「にじのきらめき」の玄米外観.

2020年は「コシヒカリ」の倒伏が著しい年でしたが、「にじのきらめき」は倒伏がほとんどなく、コンバインによる収穫作業をスムーズに行うことができました.

各地における「にじのきらめき」の作付けスケジュール

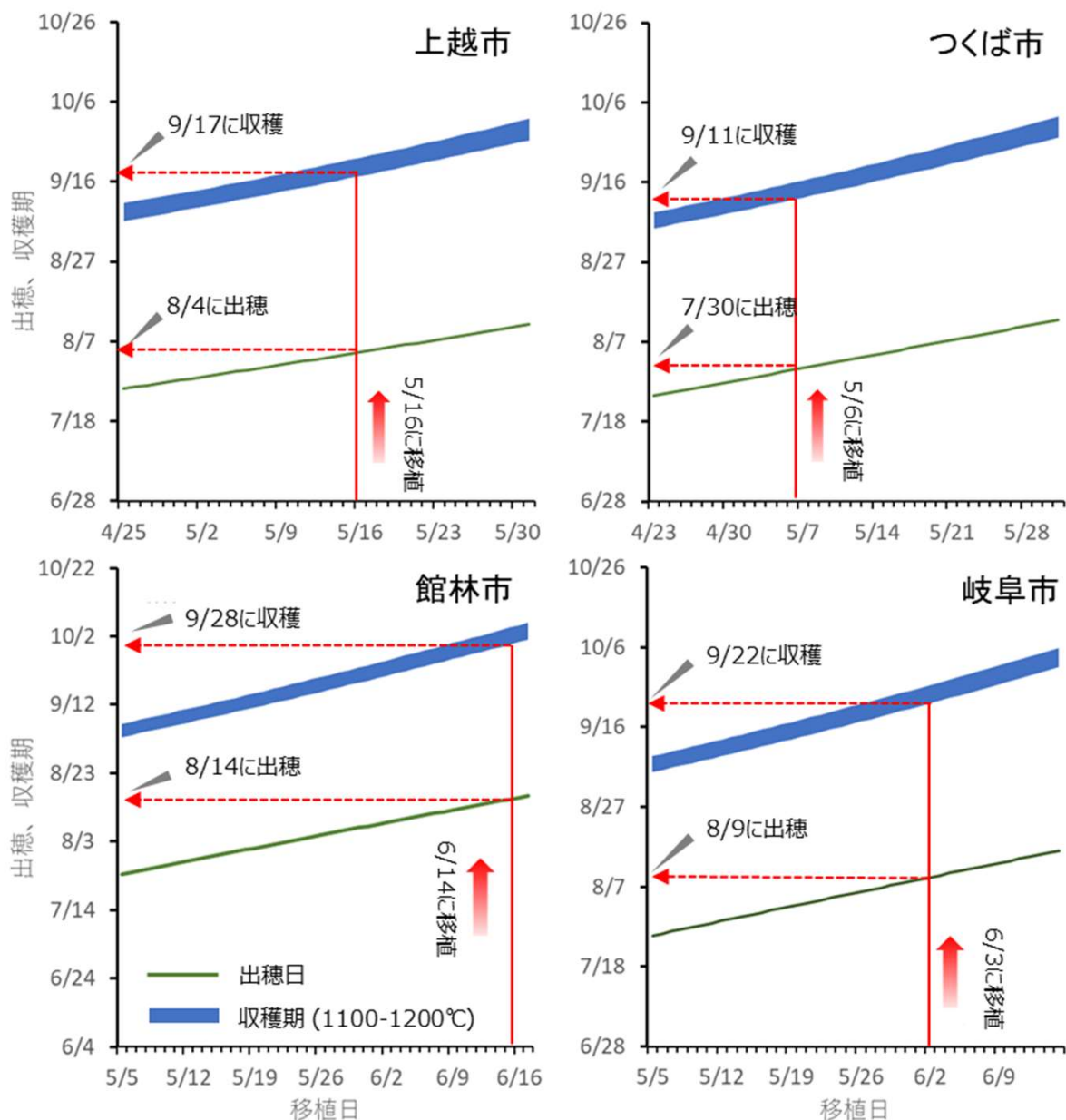


図 「にじのきらめき」の移植日と出穂日および収穫適期の予測。

図中の収穫日の例示は出穂後積算気温が1100℃での収穫日です。

表 各作付け地における移植日—出穂日—収穫期の一例。

作付け地	移植日 ¹	出穂日 ²	収穫期 ³
新潟県上越市	5/16	8/4	9/17～9/21
茨城県つくば市	5/6	7/30	9/11～9/15
群馬県館林市	6/14	8/14	9/28～10/3
岐阜県岐阜市	6/3	8/9	9/22～9/27

¹各地の「コシヒカリ」の普通期付近の移植日を適用しています。

²出穂日は、各地の生育情報と奨励品種検定基本調査成績DBを利用して、PyCroParasol(農研機構職務作成プログラムX-15)により2011～2020年の平均気象条件で稚苗を移植した時の予測値です。

³出穂後積算気温が1100～1200℃に達する期間を示しています。

※移植日-出穂日-収穫期はあくまで発育の予測結果であり、図で表示した期間に移植すれば必ず多収や高品質が得られる、というわけではありません。また、穂肥は出穂が予想される30～25日前に施用ください。

にじのきらめき湛水直播栽培のめやす(寒冷地南部 平坦地)



「にじのきらめき」は湛水直播栽培でも倒伏に強く、多収を目指した多肥栽培に向きます

収量目標と収量構成要素	
収量 (kg/10a)	650
穂数 (本/m ²)	500 ~ 600
一穂粒数 (粒/穂)	54 ~ 65
粒数 (粒/m ²)	32,000 ~ 33,000
登熟歩合 (%)	85
千粒重 (g)	23.5

施肥の目安	
中生品種対応の直播専用肥料 基肥：窒素成分で8~10kg/10a施用 穂肥：葉色等から0~4kg/10a施用	
播種量と目標苗立率・苗立数	
播種量 (kg/10a)	4 ~ 7
苗立率 (%)	60~70
苗立数 (本/m ²)	100~150

「にじのきらめき」の耐倒伏性
湛水直播表面散播で、苗立数が200本/m²のように過剰になっても、多肥栽培(総窒素16kg/10a)で倒伏はごく軽微



にじのきらめき コシヒカリ

湛水直播栽培の重点推進事項

- 圃場選定：雑草発生が少なく均平で、水持ちが良く暗渠など排水対策が施されていること
- 発芽能力の高い種子を使用する(最低でも発芽率90%)
- 鉄コーティング種子の播種時：代かき後に土壌が落ち着いてから播種し、種子を土中に埋没させない
- カルパーコーティング種子の播種時：代かき後の土壌が柔らかいうちに約1cm土中に播種する
- 播種後にスズメ害が生じそうときは湛水管理、カモ害が生じそうときは落水管理を行う
- 除草剤を適期に散布して雑草を防除する

月	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			
	旬			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
生育期				播種期			出芽・苗立期			有効分けつ期			幼穂形成期	穂ばらみ期	登熟期			成熟期				
作業		耕起・代かき(施肥)		播種(施肥)			初期除草剤一発除草剤			必要に応じて中後期除草剤			必要に応じて病害虫防除								収穫	
カルパー水管理				播種後落水						中干し									落水管理			
鉄水管理				播種後湛水			落水			中干し									落水管理			
作業・栽培管理のポイント	カルパー	<ul style="list-style-type: none"> 4月中旬までの資材・圃場準備 種子消毒・浸種 種子塩水選、土壌改良剤散布、耕起 催芽はコシヒカリより十分酸化・乾燥で発熱防止 播種前日にコーティング 遅延しても4日以内に播種 播種後水管理と除草剤 過乾燥のときは走水 出芽盛期に入水 除草剤散布後1週間は入排水しない 薬害を生じない稲葉齢で除草剤散布 直播に登録のある除草剤を散布 中干しと除草剤散布 必要に応じて中後期除草剤により残草を防除 7月初旬までに中干しを終わらせる 追肥、防除 葉色が40を下回るときは追肥 適宜病害虫防除 幼穂形成期に低温が予想される場合は深水管理 紋枯病多発田は薬剤の散布 登熟期の水管理 落水は出穂後28日以降 フェーンが予想される時は早めに湛水 出穂期から登熟盛期は水を切らさない 登熟期の防除 カメムシ防除の徹底 適期収穫・適正調整 ふるい目1.85mm以上、整粒歩合80%以上 黄化粒率90%で収穫 出穂後積算気温110051200℃ 																				
		鉄																				

カルパーコーティング種子の湛水直播栽培の詳細は、『水稻湛水直播栽培の手引き(水稻直播研究会)』
URL: https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/zikamaki/z_kenkyu_kai/pdf/24chokuha.pdfを参照

鉄コーティング種子の湛水直播栽培の詳細は、『鉄コーティング湛水直播マニュアル2010(農研機構)』
URL: https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/iron_coating_seed.pdf、

『「萌えみのり」の鉄コーティング直播栽培マニュアル(農研機構)』
URL: https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/024281.htmlを参照

「にじのきらめき」のV溝乾田直播栽培については研究例に限られるため、栽培管理についてはお問合せ下さい。

農研機構中央農業研究センターが育成した「にじのきらめき」とは熟期の異なる良食味多収品種



つきあかり

- 出穂期は「あきたこまち」並みの早生品種です。北陸地方では「コシヒカリ」や「にじのきらめき」より1週間ほど早い7月下旬に出穂します。
- 東北から北陸、関東以西で栽培できます。
- 千粒重は24g程度と粒が大きく、「あきたこまち」より10%ほど多収です。
- つきあかり栽培マニュアルは中央農業研究センターのホームページで公開しており、以下のURLから無料でダウンロードできます。

https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/tukiakari_manual_all_1.pdf



みずほの輝き

- 北陸地方では出穂期は「コシヒカリ」より1週間遅い8月中旬となる晩生品種です。収穫期は「コシヒカリ」よりも2週間ほど遅くなります。
- 北陸および関東以西で栽培できます。
- 千粒重は25g程度と粒が大きく、収量は「日本晴」よりやや多収です。
- コシヒカリよりも、いもち病に強く倒れにくい品種です。



あきあかね

- 北陸地方では出穂期は「コシヒカリ」より1週間遅い8月中旬となる晩生品種です。収穫期は「コシヒカリ」よりも2週間ほど遅くなります。
- 北陸および関東以西で栽培できます。
- 千粒重は23.5g程度で、収量は「日本晴」より10～15%多収です。
- 玄米の外観品質に優れます。

- 中生品種の「コシヒカリ」や「にじのきらめき」とは熟期が異なるため、生産者は作業分散を図ることができます。
- いずれの品種も粒が大きく、多収で食味の良いお米です。おにぎりやお弁当など、冷めてもおいしいお米なので、業務用にも向いています。
- 種子の入手は下記URLの農研機構育成品種の種苗入手先リストをご覧ください。

http://www.naro.affrc.go.jp/patent/breed/seeds_list/index.html 検索: (検索例)